

東福寺

— 栄村十景 —

作藏山延命院東福寺は、南北朝の頃山号を、石蔵山と稱し、今の役場附近にあつた。現在地はその頃の尼寺であつたと言ふ。安置する本尊、延命地藏尊は、聖徳太子の作、平将門の護持佛と言ひ傳へ、安産子育ての護りとして、婦人の参詣が多い

旧幕時代、嵯峨御所高源院を兼ね、五十四ヶ寺の本寺として、当時第廿五世恵海僧正の代大いに法燈輝く戦時中供出した鐘銘序に、当山者建長中乘海和尚擇地造坦之勝壤庶永中良専大徳三空興隆之道場也 爾来 許多之星霜荒蕪落然付元録以降繼起産絶叢林吐輝又 梵鐘増二嚴之福以廻斯景社九山八海震薄罕響入声実相とある。 本堂 樓門は正徳三年に落慶せるゆの 仁王尊は三代將軍家光公の寄進なり。

堤に空高く古松簪ゆる並木は、四時風を呼び、松籟絶えず 四季それぞれの風趣は、仲々捨て難いゆのがある。この寺の持つ文化財は、世の消長と共に如何なる歩みを辿るかば、栄村の眞の文化水準の尺度と見てよいのではなからうか。 第三十九世 橋本義弘記

さかえ

五月号



栄村公民館

目次

表紙 栄村十景	東福寺	浦田正夫
題字	猪俣三郎	
扉解説	橋本義弘	
役場吏員 村談	銀行 煙草組合	二
農調 健康保険	幼稚園 保育園	二
選挙管理委農地委員	短歌俳句将棋釣会	三
民生委員	中小校生徒児童会	三
戦没軍人遺族会	柔道会同胞援護会	四
常設委員 部落班長	部落自慢	一五
佛教会 農青連	人事消息	一六
消防団	法務府とは	一六
中 小学校 PTA	編輯者より	一七
子供会 婦人会	村のNOI	一八
青年会	歌詞募集	一八
農協 全上澱粉工場	電話室	一九
茨販 共済組合	栄小唄音譜	二〇
部落生産組合	栄音頭音譜	二一
商工会 郵便局	編輯後記	裏表紙

資料提供：花開孚夫氏（つくば市金田）
編集：木村 滋

栄村各種団体役職員名鑑

昭和廿六年度

役場吏員

特別職員

村長	村政全 般	飯島 吉光	四三才
助役	村政経済経済課長	酒井 嘉幸	五五才
収入役	会計全般会計課長	沼尻 昌雄	五六才
評定資産 調査員	固定資産償却資産の評価等	沼尻 弘	五八才
一般事務職員			
総務課長	庶務議会議事消防	酒井伊右門	五三才
書記	統計調査	大山重右門	四八才
同	戸籍	飯島 一男	四七才
同	民生土木土地改良公衆館	豊島伊三郎	六三才
同	学事衛生人労働態調査	横山 秀暢	五三才
同	稅務全般	岩瀬 謙	三五才
同	農地 農調	櫻井 操	二九才
同	國民健康保険	飯島忠之助	四三才
雇員	農地 農調	柴沼 孝雄	三一才

雇員 農調(主食外の配給) 飯島 和子 三八才

同 農調(主食の配給) 石渡 ちう 四八才

同 農地 久保田清江 二七才

同 農地農調 鷹巢 志子 一九才

同 稅務 本橋 琴江 一九才

一般技術職員 比岡 とく 三七才

保健婦 保健衛生 比岡 とく 三七才

其他 使 丁 雜用 野西 音松 五〇才

備 人 國民健康保健集金人 岡本 谷 三五才

村議會議員

議長	出納検査立会人	岡田 節二	五七才
副議長	出納検査立会人	根本 一之	四七才
議員	監査委員	市村 徳夫	五四才

(2)

議員 教育民生委員会委員

同	同	小林 善市	四八才
同	同	酒井 善	三八才
同	同	輕部哲太郎	五五才
同	右同兼出納検査立会人	大久保四郎三郎	四二才
同	同	飯島 重夫	三六才
同	同	酒井 助衛	四六才
同	同	豊島 亨	五六才
同	同	比岡弥一郎	五九才
同	同	小倉松三郎	五六才
同	同	五頭 良雄	五三才
同	同	豊島一之丞	四七才
同	同	平島作太郎	五九才
同	同	久保田 泰	四八才
同	同	久松 信一	六三才

経済委員会委員

同	同	五頭 良雄	五三才
同	同	豊島一之丞	四七才
同	同	平島作太郎	五九才
同	同	久保田 泰	四八才
同	同	久松 信一	六三才

農業調整委員会

會長	沼尻 弘	五八才
副會長	塚本 清	四四才
委員	酒井作一郎	三五才
	酒井茂一郎	五三才
	室町意一郎	五〇才
	小倉松三郎	五六才

委員 被保険者代表

酒井 晋	三八才	市村 徳夫	五四才
沼尻 正	四五才	柳澤 春一	四四才
醫師 齒科医師代表			
岡田節二	五七才	大津 武雄	三七才
中村千枝	四三才	永田 常吉	五七才
公益代表			
菊地民雄	五七才	上方名尾吉	五七才
塚本 清	四四才	藤澤勸兵衛	四五才

新治地区農業調整委員

飯島 憲	三七才	酒井 幸助	五六才
沼尻 晃	五〇才	酒井 光男	四二才
宮本 幸一	四八才	沼野 武男	四四才
沼尻謙次郎	五二才	宮島 正	四五才
豊島 正雄	四三才	根本 元一	四五才
柳澤 春一	四四才	豊島一之丞	四七才

沼尻 弘 五八才 酒井 光男 四二才

國民健康保険千係

選挙管理委員会

委員長 久松源吉 六九戈
副委員長 沼尻 弘 五八戈
委員 酒井治郎 五六戈
同右補 五頭幸一 六三戈
充委員 酒井 隆 六〇戈
宮本庄吉 六八戈
室町清藏 六四戈

農地委員会

委員長 塚本 清 四四戈
委員 平島徳市 四四戈
同 飯島吉堯 四三戈
同 酒井栄一 三六戈
同 沼野武男 四四戈
同 根本一之 四七戈
酒井福太郎 五九戈
久保田茂郎 五三戈
沼尻利之助 四二戈
豊島 正雄 四三戈

民生委員推薦委員会

委員長 飯島吉堯 四三戈
委員 酒井駒治 六五戈
同 宮本庄吉 六八戈
小林 喜市 四八戈
沼尻 敬一 六二戈

委員 酒井治郎 六五戈
同 沼尻 正 四五戈
同 五頭静男 五四戈
同 打越秀夫 二四戈
藤澤勘兵衛 四五戈
比岡 三郎 六五戈
市村 延好 二五戈

民生委員

常任委員 久松信一 六三戈
委員 酒井 隆 六〇戈
同 橋本義弘 四二戈
中村 千枝 四三戈

戦没軍人遺族会

會長 酒井千一郎 六五戈
副會長 寺田厚之助 五四戈
幹事 酒井利三郎 七八戈
同 錢谷 森三 五八戈
同 大久保初太郎 四七戈
同 寺田 光一 五三戈
五頭静男 五四戈
本橋久好 二六戈
久保田実 三八戈
島崎栄助 七四戈
中島長一 六三戈

常設委員

大字 正
上境 酒井徳市 五一戈
中根 平島徳市 四五戈
土器屋 一 飯島勘一郎 四六戈
二 須藤定之助 五三戈
松塚 久保田茂郎 五三戈
太下 酒井實之助 五〇戈
大上 塚本積善 四六戈
横町 沼尻 正 四五戈
金田 岩瀬 仲 五七戈
古来 豊島正雄 四三戈
吉瀬 柳澤春一 四四戈
酒井 長利 五〇戈
本橋 徳次 四三戈
酒井善太郎 四〇戈
塚田隆之助 五五戈
美野本彦三郎 四七戈
酒井 勝 五三戈
大山 好麿 五二戈
沼尻善一郎 四八戈
久松 誠 三六戈
藤沢勘兵衛 四四戈
寺田 兵吾 四七戈
根本 豊次 三八戈

班長

上境 (1) 岡田義雄 三七戈
(3) 酒井 良二八戈
(5) 程山 隆三四戈
(2) 八月智喜作 三七戈
(4) 酒井 晋三九戈
(6) 酒井 博二九戈

中根 (1) 室町清一郎 六九戈
(3) 本橋虎之助 四七戈
(5) 小川 長吉 三八戈
(7) 上方元三郎 三三戈
(1) 飯島 重夫 三六戈
(3) 飯島 徳三七戈
(1) 岡田 節二五七戈
(3) 石塚 佐平 五九戈
(1) 鈴木 重之三 八戈
(3) 伊勢 芳治 二八戈
(5) 沼尻 敬一 六三戈
(7) 根本 保太 六九戈
(1) 酒井 光男 四二戈
(1) 酒井 寅雄 三八戈
(2) 酒井 正市 四〇戈
(1) 大保四郎 四二戈
(2) 塚本 茂 三八戈
(3) 塚本 久弥 四六戈
(1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

土器屋 (1) 飯島 重夫 三六戈
(3) 飯島 徳三七戈
(1) 岡田 節二五七戈
(3) 石塚 佐平 五九戈
(1) 鈴木 重之三 八戈
(3) 伊勢 芳治 二八戈
(5) 沼尻 敬一 六三戈
(7) 根本 保太 六九戈
(1) 酒井 光男 四二戈
(1) 酒井 寅雄 三八戈
(2) 酒井 正市 四〇戈
(1) 大保四郎 四二戈
(2) 塚本 茂 三八戈
(3) 塚本 久弥 四六戈
(1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

一 区 (1) 飯島 重夫 三六戈
(3) 飯島 徳三七戈
(1) 岡田 節二五七戈
(3) 石塚 佐平 五九戈
(1) 鈴木 重之三 八戈
(3) 伊勢 芳治 二八戈
(5) 沼尻 敬一 六三戈
(7) 根本 保太 六九戈
(1) 酒井 光男 四二戈
(1) 酒井 寅雄 三八戈
(2) 酒井 正市 四〇戈
(1) 大保四郎 四二戈
(2) 塚本 茂 三八戈
(3) 塚本 久弥 四六戈
(1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

二 区 (1) 飯島 重夫 三六戈
(3) 飯島 徳三七戈
(1) 岡田 節二五七戈
(3) 石塚 佐平 五九戈
(1) 鈴木 重之三 八戈
(3) 伊勢 芳治 二八戈
(5) 沼尻 敬一 六三戈
(7) 根本 保太 六九戈
(1) 酒井 光男 四二戈
(1) 酒井 寅雄 三八戈
(2) 酒井 正市 四〇戈
(1) 大保四郎 四二戈
(2) 塚本 茂 三八戈
(3) 塚本 久弥 四六戈
(1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

松塚 (1) 鈴木 重之三 八戈
(3) 伊勢 芳治 二八戈
(5) 沼尻 敬一 六三戈
(7) 根本 保太 六九戈
(1) 酒井 光男 四二戈
(1) 酒井 寅雄 三八戈
(2) 酒井 正市 四〇戈
(1) 大保四郎 四二戈
(2) 塚本 茂 三八戈
(3) 塚本 久弥 四六戈
(1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

大下 (1) 酒井 光男 四二戈
(1) 酒井 寅雄 三八戈
(2) 酒井 正市 四〇戈
(1) 大保四郎 四二戈
(2) 塚本 茂 三八戈
(3) 塚本 久弥 四六戈
(1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

大上 (1) 酒井 光男 四二戈
(1) 酒井 寅雄 三八戈
(2) 酒井 正市 四〇戈
(1) 大保四郎 四二戈
(2) 塚本 茂 三八戈
(3) 塚本 久弥 四六戈
(1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

横町 (1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

大上 (1) 酒井 光男 四二戈
(1) 酒井 寅雄 三八戈
(2) 酒井 正市 四〇戈
(1) 大保四郎 四二戈
(2) 塚本 茂 三八戈
(3) 塚本 久弥 四六戈
(1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

大上 (1) 酒井 光男 四二戈
(1) 酒井 寅雄 三八戈
(2) 酒井 正市 四〇戈
(1) 大保四郎 四二戈
(2) 塚本 茂 三八戈
(3) 塚本 久弥 四六戈
(1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

横町 (1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

横町 (1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

横町 (1) 沼尻 太一 三六戈
(3) 宇都木森一郎 四四戈

金田 (1) 片岡 三郎 六五 戈 (2) 沼尻 繁 四六 戈

(3) 塚本 芳雄 三七 戈 (4) 市村 徳 郎 四四 戈

(5) 岩瀬 芳一郎 三七 戈 (6) 田村 実 三二 戈

(7) 増山 米四郎 五五 戈 (8) 増山 芳一 三三 戈

古采 (1) 久松 茂 四四 戈 (2) 諸井 喜郎 五六 戈

(3) 豊島 武雄 五八 戈 (4) 宮本 義雄 二五 戈

(5) 豊島 藤次郎 四四 戈

吉瀬 (1) 上方 貞夫 四二 戈 (2) 上方 恒治 三九 戈

(3) 根本 彰 三九 戈 (4) 五頭 重儀 四二 戈

(5) 中島 宣夫 三一 戈 (6) 根本 実 二五 戈

(7) 根本 久治 三五 戈

佛敎会

會長 大 願照寺住職 横山 秀暢 五三 戈

委員 長 宮本 勝延 三二

副委員 長 豊島 松雄 二九 本橋 三千夫 二八

總務 部長 寺田 好雄 二七 副部長 酒井 邦夫 二四

農政 部長 塚本 太美男 二七 副部長 黒田 三代司 二六

生産 部長 五頭 武雄 二五 副部長 榎部 芳男 二七

消防団

團長 久松 茂 四四 戈

副團長 酒井 浩 三六 戈 酒井 光男 四二 戈

各分団

上境分団長 酒井 作二郎 三六 副分団長 酒井 靖三 三六 酒井 寛市 三六

〃 班長 酒井 健二郎 三六 酒井 新一 二七 酒井 信次郎 四六

中根分団長 平島 藤一 三三 副分団長 小倉 重信 三三

〃 班長 室町 茂 二九 平島 三四郎 二七 上方 元三郎 三三

土器屋分団長 飯島 秋之助 三四 副分団長 高梨 安三郎 三三

〃 班長 米栖 三男 三三 飯島 七郎 三一 錢谷 健治 二七

松塚分団長 沼尻 勤之助 三二 副分団長 沼尻 玲吉 三二

〃 班長 沼尻 経夫 三九 根本 森夫 二七 沼尻 裕 二四

大分団長 塚本 新吾 三六 副分団長 酒井 豊 三五

〃 班長 塚本 政男 三六 酒井 三郎 三九 酒井 清 三五

横町分団長 沼尻 利之助 四二 副分団長 岩瀬 重道 四二

〃 班長 宇都 木森 一郎 四四 杉田 弘 四四 沼尻 豊

金田分団長 沼尻 喜三郎 二八 副分団長 片岡 実 二八

〃 班長 塚本 勝利 二八 増山 正巳 二八 市村 延好 二五

古采分団長 豊島 正男 三三 副分団長 久松 源吾 三三

(6) 古采 班長 豊島 松雄 二九 諸井 俊夫 二八 豊島 忠男 二六
吉瀬 分団長 中島 宣男 三二 副分団長 五頭 武雄 二五
〃 班長 根本 哲治 二六 根本 武 二五 根本 仁也 二二

中学校

校長 担任 担任 学科 氏名 年令

教頭 三年副 珠算科 猪俣 三郎 四五 戈

教諭 三年A 社会 日本史科 市村 芳男 三八 戈

同 三年A 数学 國語 赤塚 世意子 三六 戈

同 三年B 理科 数学 英語 栗栖 三男 二三 戈

同 二年A 職業 家庭 社会 松井 泰雄 二七 戈

同 二年B 数学 英語 社会 木村 憲 二三 戈

同 一年 國語 音楽 体育 野口 省 三二三 戈

同 一年副 職業 家庭 園工 石田 良子 三五 戈

小学校

校長 担任 学級 担任 部落 氏名 年令

教頭 一年 中根 根本 養三 三九 戈

教諭 一年 古采 鷹巢 清 三七 戈
笹本 節子 二六 戈

教諭 二年一組 中根 近藤 清子 二二 戈

助教諭 二年二組 大 宮澤 信子 二二 戈

同 三年一組 横町 大塚 孝 二三 戈

同 三年二組 土器屋 石渡 直以 二〇 戈

同 四年一組 上境 青木 光子 二六 戈

同 四年二組 金田 岡 政夫 二二 戈

同 五年一組 吉瀬 倉田 利夫 二二 戈

同 五年二組 松塚 渡辺 信雄 二二 戈

同 六年 上境 酒井 那夫 二四 戈

中学校父母と先生の会

會長 塚本 清 四四 戈 副會長 久保田 健一 三九 戈

會計 岩瀬 芳一郎 三七 戈 書記 市村 芳男 三八 戈

予算 會計 委員會 委員長 平島 昭雄 同副 鴻巣 高次

委員 酒井 助十郎 飯島 菊雄 飯塚 孝一 塚本 久弥

企画 委員會 委員長 沼尻 久好 同副 豊島 清一

委員 室町 善一郎 飯島 菊雄 久保田 さくの

成人 教育 委員會 委員長 飯島 長太郎 全副 久松 茂

委員 小林 田雄 酒井 正市 塚本 芳雄 寺田 兵吾
五頭 良雄

厚生委員会 委員長 酒井肇夫 同副 酒井要一
 委員 平島たか、鶴見清、佐藤賢、中島佐平
 校外生活指導委員会 委員長 根本元一 同副 鈴木留之助
 委員 沼尻義雄、本橋ちか、上方てる、里見惣三郎
 杉田弘、酒井敬之助、沼尻亮重郎、久保田一郎、豊島源之進

小学校父母と先生の会

会長 酒井きよ 六三才 副会長 藤澤勘兵衛 四四才
 会計 岩瀬 弘 三八才 書記 鷹巣 清 三七才
 予算会計委員会 委員長 久松 茂 同副 根本武男
 委員 酒井清、平島かく、来栖保次郎、鈴木政之助
 沼尻繁
 企画委員会 委員長 大津忠雄 同副 久松 誠
 委員 酒井文男、増山正己、久松英一、上方貞雄
 酒井重利
 成人教育委員会 委員長 大久保四郎三郎 同副 久保田守留
 委員 酒井福次郎、本橋一男、沼尻四郎、豊島貞男
 酒井喜太郎
 厚生委員会 委員長 飯島虎之助 同副 比岡ちよう

委員 本橋徳次、増山芳一、小川唯雄
 校外生活指導委員会 委員長 酒井茂一 同副 藤澤達
 委員 飯泉つる、本橋久好、飯島憲、宇津木森一郎
 沼野武男、五頭重義、酒井高次、沼尻せい

栄村子供会

会長 岡田 久
 後援会長 久松信一
 後援会委員 各分会PTA校外指導委員

婦人会

会長 比岡たま
 副会長 小林やき、永田敬子、酒井ゆう
 総務部長 酒井ひで、同副部長 大山満寿
 教養部長 久松志づ、同副部長 豊島きよ
 事業部長 沼尻やま、同副部長 沼尻せい
 教育部長 五頭常盤、同副部長 柳澤とよ
 厚生部長 荒井まき、同副部長 花開ちを
 宣傳部長 酒井八千代、副部長 露久保しづ
 理事 石田良子(栄中)、近藤清子(栄小)

(8)

上境支部長 酒井てい 同副 酒井たま、酒井りん
 同 班長 大山てる、上野あい、多比良朝子
 酒井あい、酒井たか、酒井とみ子
 中根支部長 飯泉つる 同副 平島たか
 同 班長 平島いま、本橋志ホ、平島じよう、本橋
 ちか、本橋かつ、高築まつ江、平島はる
 小倉志津江
 土器屋支部長 来栖とく 同副 飯島ふさ、飯島ひさ
 同 班長 酒井くら、飯島よし、松本とみ子
 佐野さい、櫻井好子、島崎志津江
 松塚支部長 久保田せい 同副 佐藤ふじ
 同 班長 沼尻なを、坂せつ、久保田さくの
 鶴見のぶ、鈴木はるの、久保田ゆと
 沼尻まつえ
 大 支部長 酒井たけ 同副 塚本久良
 同 班長 酒井とく、酒井みよ、酒井たけ
 大山こら、塚本なか、酒井つね
 横町支部長 比岡ちよう 同副 沼尻たか
 同 班長 沼尻しげ、杉田兆子、宇都木はるの
 比岡ちよう

金田支部長 比岡たま 同副 荒井まき
 同 班長 比岡ちか、沼尻たま、岩瀬喜和子
 岩瀬百枝、宮島たい、増山ふみ
 古米支部長 久松きよ 同副 藤澤みち
 同 班長 豊島ちう、藤澤おう、豊島よしえ
 豊島ゆと、久松ろめ
 吉瀬支部長 根本政子 同副 中島せい
 同 班長 中島あき、根本さと、根本とく
 根本とく、五頭しま、根本りき
 五頭かく、中島しづ

青年会

会長 豊島 寛 二二才
 副会長 沼尻保之助 二二才、久保田定一 二二才
 高梨久子 二二才
 総務部長 比岡修一 二二才
 同副部長 平島祐助 二一才、室町初江 一九才
 文化部長 久松久夫 二二才
 同副部長 酒井 茂 一九才、鷹巣志が 二〇才
 産業部長 根本仁也 二二才

同副部長 藤沢邦夫 二一七 豊島光子 二〇七
 体育部長 久保田浩一 二二七
 同副部長 須藤茂夫 二一七 大山花子 二一七
 社会部長 酒井 昭 二二七
 同副部長 酒井 昇 二三七 飯島ひさ 二一七
 家庭部長 酒井澄子 二〇七 同副部長 程塚久子 三〇七
 評議員 酒井繁好 二三七 酒井昭 二四七 小林守 二〇七 平島三郎 二〇七 程塚久子 二〇七 須藤茂夫 二〇七 飯島ひさ 二〇七 久保田仁 二〇七 久保田益夫 二〇七 久保田とし 一八七 酒井茂 一〇七 輕部靜男 二〇七 大山美子 一〇七 沼尻芳男 二〇七 大塚久男 二〇七 宮本良枝 二〇七 比岡修一 二〇七 増山茂 二〇七 沼尻幸子 一〇七 沼尻静子 二〇七 寺田次男 二〇七 久松久夫 二〇七 豊島光子 一〇七 柳澤清 二〇七 中島恒子 一〇七
 上境支部長 酒井繁好 二三七 同副 酒井昭 二四七
 中根支部長 小林守 二〇七 同副 平島三郎 二〇七 程塚久子 二〇七 土屋支部長 飯島保一 二〇七 同副 須藤茂夫 二〇七 飯島ひさ 二〇七 松塚支部長 久保田仁 二〇七 同副 久保田益男 二〇七 久保田とし 一八七 大 支部長 酒井 茂 一〇七 同副 輕部靜男 二〇七 大山美子 一〇七 横町支部長 沼尻芳男 二〇七 同副 大塚久男 二〇七 宮本良枝 二〇七

農業協同組合

金田支部長 比岡修一 二〇七 同副 増山茂 二〇七 沼尻幸子 一〇七 沼尻静子 二〇七
 古来支部長 寺田次男 二〇七 同副 久松久夫 二〇七 豊島光子 一〇七 吉瀬支部長 上方清次 二〇七 同副 柳澤清 二〇七 中島恒子 一〇七
 組合長 久松 茂 四四七
 参 事 塚本 清 四四七
 會計主任 竹中清治 五六七
 事務主任 室町 正 三七七
 職員 根本武雄 三五七 小川唯雄 三〇七 飯島幸之助 三〇七 竹中善次郎 三三三 松本富子 二〇七 上方小つ 三三三 大塚喜子 一〇七
 嘱 託 大津治雄 二〇七 市川 茂 松本唵吾 二〇七 菊地とよ 一〇七
 使 丁 小林清蔵 七〇 運轉手 青木作一郎 三五七
 工場長 久松 茂 四四七
 主任 塚本 清 四四七 係 豊島 登 三五七

農業協同組合 澱粉工場

茨販連土浦營業所米派出所(運輸部)

主任 室町 正 三三七
 運轉手 斉藤半平 二〇七 斉藤 信 二〇七

農業協同組合 役員 (兼共済)

理事 久松 茂 四四七 平島 徳市 四四五 酒井敬次郎 四四五
 小林喜一 四四七 飯島 重夫 三三三 酒井 駒治 三三三
 飯島長太郎 四四七 久保田健一 四四七 久保田 実 三三三
 酒井 斐 四四七 大久保四郎三郎 四四七 比岡弥一郎 四四七
 沼尻 正 四四五 黒田 芳助 四四五 豊島一之丞 四四五
 五頭良雄 四四五 五頭 辯男 四四五
 監 事 市村徳夫 四四五 小倉松三郎 四四五 塚本 積善 四四五

農業共済組合

組合長 久松 茂 副組合長 大久保四郎三郎
 主任書記 大津治雄 書記 菊池とよ

農協共済の両組合及農青連の役員は二五年
 度分につき改選次第次号へ再掲載、又公民
 館関係名簿は新規決定次第発表します

部落生産組合

組合長 大塚実(上) 大津忠雄(中) 飯島長大郎
 (下) 美野本辰三郎(松) 大久保四郎三郎(大上)
 酒井斐(大下) 沼尻善一郎(横) 沼尻謙次郎(金)
 久保田一郎(西) 寺田兵吾(吉) 根本豊次(吉)
 副組合長 酒井半夫(上) 小林喜市(中) 飯島秋之助
 (下) 久保田茂一郎(松) 沼尻力三(大上) 酒井正
 市(天下) 宮本幸一(横) 岩瀬芳一郎(金) 増山政
 雄(西) 豊島一之丞(吉) 柳澤春一(吉)
 生産部長 露久保格二郎(上) 本橋一男(中) 飯島
 長太郎(土) 鈴木留之助(松) 塚本政男(大上)
 酒井三郎(大下) 沼尻善一郎(横) 岩瀬芳一郎(金)
 久保田一郎(西) 豊島清一(吉) 中島宣夫(吉)
 團芸部長 酒井正衛(上) 室町竜一郎(中) 飯島虎
 之助(土) 鈴木政之助(松) 酒井敬之助(大上)
 長沼弥市(大下) 沼尻信次郎(横) 沼野武男(金)
 諸井政男(西) 豊島勇(吉) 根本茂治(吉)
 會計部長 大塚実(土) 本橋三千男(中) 飯島長太
 郎(土) 沼尻力三(大上) 沼尻利之助(横) 沼尻正

男(金) 増山政雄(西) 豊島松雄(吉) 五頭豊之(吉)
受検部長 酒井実(上) 平島新一(中) 飯島重夫(土)

久保田正治(松) 塚本勝(大上) 沼井豊(大下)
沼尻勝雄(横) 沼尻繁(金) 久松誠(西) 沼井徳一
(吉) 中島頼平

調査部長 酒井健一郎(上) 室町盛夫(中) 米極要
蔵(土) 久保田武夫(松) 塚本太美男(大上) 酒井
重利(大下) 沼尻善一郎(横) 市村延好(金) 増山
芳一(西) 豊島正男(吉) 五頭武男(吉)

購買部長 酒井助十郎(上) 小林喜市(中) 酒井守
夫(土) 沼尻竜次郎(松) 塚本新吾(大上) 酒井良
夫(大下) 沼尻利之助(横) 岩瀬弘(金) 増山米四
郎(西) 寺田兵吾(吉) 五頭豊之(吉)

利用部長 露久保公義(上) 沼尻讓(松) 沼尻茂(横)
佐藤賢(金)
養蚕部長 酒井靖(上) 小林由雄(中) 酒井益之助
(土) 沼尻竜次郎(松) 大山重右工門(大上) 沼尻
信郎(横) 田村実(金) 寺田寅之助(西) 五頭静男
(吉)

備考 括弧内の頭文字は各々部落名を示す。

商工会

会長 猪俣 寅吉 (54)
副会長 酒井 浩 (36)
常任理事 張替 登 (32)
理事 増山 正己 (37)
中根 守一 (33)
幹事 来栖 要藏 (49)
相談役 沼尻軍一 (50) 飯島清八 (53) 久保田吉之助 (61)
顧問 飯島 吉光 (43) 宮本 庄吉 (68)

郵便局

局長 久松 砂 (54)
主事 片岡 昌 (24)
事務員 塚本哲四郎 (49) 外務主任 島崎 茂 (36)
鈴木久良 (22) 飯島光子 (37) 倉田賢二 (32)
小神野理一 (33) 岩瀬 清 (39) 飯島房雄 (39)
宮本西之助 (17) 久松信夫 (34) 沼尻 満 (26)

常陽銀行中根支店

支店長 土肥 孝嗣 (38)
行員 久松 光 (54) 宮崎育三 (27) 酒井きく (24)
酒井 マツ (19)
雇員 市村勝之助 (69)

煙草耕作組合

組合長 酒井 茂一 (41)
副組合長 久保田一郎 (46) 酒井 助衛 (46)
理事 酒井作一郎 (35) 酒井敬次郎 (51) 酒井虎三 (39)
小林 喜市 (48) 本橋徳次 (41) 本橋俊一 (48)
飯島長太郎 (49) 酒井幸助 (56) 酒井 勝 (51)
大山 好農 (52) 岩瀬 仲 (57) 沼野武男 (44)
比岡 惣吾 (48) 諸川辰雄 (46)

各部署員

会計部 久保田一郎 酒井敬次郎 小林喜一
酒井 幸助 酒井 嘉幸 沼野武男
指導部 大山重右門 酒井作一郎 大山好農
飯島長太郎 比岡 惣吾 岩瀬 仲

改良団長 酒井助衛 飯島長太郎 小林喜市
増山米四郎 塚本積善

栄幼稚園

園長 橋本 義弘 四二五
教職員 橋本 又三 (23) 小川文子 (36) 石川つる (20)
母の会々長 沼尻 宏雄
同副会長 沼尻あい子 吉田要三郎
同會計 久保田やす
幹事 各部落一名宛
顧問 中村千枝 酒井きよ 村内各種団体長

弘徳保育園

園長 岡田 啓阿 四五五
主任 平島作太郎 五九七
保母 岡田信子 (24) 中沢よね (23) 本橋和子 (18)
嘱託 医 岡田 久 (23) 大津武雄 (37) 永田常吉 (57)
PTA会長 中村千枝 (43) 竹越金次郎 (45)
同會計 大津善美伊 副会長 本橋みち
同顧問 小川はな江 各委員省略
飯泉 つる

短歌会

会長 大久保月夜 (42)
 副会長 塚本 暮村 (50)
 常任幹事 飯島幸之助 (37)
 幹事 相沢 和幸 (27) 酒井 茂 (20)

俳句会

会長 永田 晋雪 (58)
 副会長 酒井 雪花 (57) 飯島峰雪 (61) 岩瀬水哉 (37)
 理事 櫻井 霞峰 (30) 横田清櫻子 ()
 沼尻亮重郎 (48)

将棋会

顧問 江南 X造 (63) 岡田節二 (38)
 会長 増山 重信 (44)
 副会長 岡田 実 (44)
 理事 酒井 喜市 (46) 大里國造 (67) 沼尻 護 (47)
 沼尻 善造 (55) 豊島庄一 (46) 塚本 勝 (52)
 張馨常五郎 (71)

釣魚会

名誉会長 飯島 吉莞 (43)
 会長 酒井 浩 (36)
 副会長 猪俣 實吉 (54)
 幹事 酒井福太郎 (57) 飯島重夫 (36) 小池海賢 (44)
 平島藤兵衛 (52) 松岡大録 (53)

柴中学校生徒会

会長 飯島 英吉 三B
 副会長 中西 せつ 三B 飯島 保男 三B
 書記 大久保正五郎三A 室町 みつ 三A

柴小学校児童会

児童会長 市村 浩
 副会長 飯島 光子 藤澤順一
 常任委員 藤沢節子 飯塚ひろ子 久松由喜子
 岩瀬 米 酒井ふじ子 久松 徹夫
 広瀬俊一 酒井 洋次

部名 部長 副部長

図書部 沼尻美智子 大塚 文子
 購買部 広瀬 俊一 平島 幸子
 放送部 市村 浩 酒井 治也
 美術部 藤澤 節子 久松由喜子
 科学部 岩瀬 興一 豊島 英雄
 文芸部 飯島 義一 増山 芳男
 保健部 本橋 英輔 岩瀬ひさ子
 貯金部 柴田万里子 酒井千代 室町整徳
 音楽部 小川登志子 塚本 智子
 映画部 飯島 彬 酒井五兵衛
 整理部 久松しけ 中島みち子 高木久夫

第一学期学組委員

三ノ一 酒井宏 小神野健一 平島藤子 酒井蘭子
 三ノ二 中村伸 沼尻敏子 露久保雄 室町多伊子
 四ノ一 飯島浩 飯島和子 平澤朋子 上方名尾一
 四ノ二 平島秀夫 岩瀬米 酒井ふじ子 久保田俊一
 五ノ一 酒井洋次 久松徹夫 久松由喜子 飯塚博子
 五ノ二 平島嘉治 藤沢順一 酒井千代 五頭綱子
 六ノ一 岩瀬重夫 飯島義一 塚本智子 藤沢節子

六ノ二 廣瀬俊一 市村浩 飯島光子 中島美智子

柴乗道研究会

会長 橋本 義弘 四二文
 顧問 五段 岡田 久 (33) 外に各種団休長
 師範 五段 久家 邦雄
 師範代 三段 打越秀夫 二段 酒井治部
 幹事 青年部 二名 少年部 三名

同胞援護会柴村分会

分会長 藤沢勲兵衛 (44) 副分会長 酒井 浩 (36)
 幹事 酒井 徳市 (51) 平島作太郎 (59) 飯島勘一郎 (46)
 久保田泰 (49) 須藤定之助 (53) 塚本積善 (46)
 沼尻 正 (45) 酒井寅之助 (50) 岩瀬 伸 (57)
 上方要範 (56) 寺田庫之助 (55)
 理事 酒井長利 (50) 酒井喜太郎 (40) 本橋俊一 (48)
 塚田隆之助 (55) 久保田茂一郎 (53) 大山好廣 (52)
 酒井 勝 (53) 沼尻善一郎 (48) 久松 誠 (36)
 豊島正雄 (43) 五頭良雄 (52)



部落自慢 (二) 中根

一、中根前

部落自慢と言ふ程の事でもないが、一、二、中根の自慢を御紹介しよう。先ず俗に中根前と言ふ商店街が自慢の一つでしょう。狭い乍らも異道の両側に並ぶ様々な店舗は栄村の皆様は申すに及ばず、近村の人達も足繁くして便利を痛感することと思ひます。

先ず、石屋さんから豆腐屋さん。酒屋さんから煙草屋さん、理髪店からパーマネント、乾物屋さんから果物屋さん、セトモノ屋から金物屋、洋物呉服大物から裁縫所、自転車屋から荷車屋、大工さんから健具屋さん、製紙所から枕木屋、お菓子屋さんから支那ソバ屋、菜屋さんからお医者さん、宿屋さんから一パイ屋、パチンコ屋からダンスホール、おまけに造り酒屋までと言つた具合、その他まだ、種々の店が並んで、おそらく若男女の日常生活に於て必要なるものは何でも間に合ふと言つので、先づ自慢の一つでしょう。

二、灌水設備

当部落四十町歩に及ぶ水田に、スイツチ一つで思ふ様に、いつでも灌水出来ると言ふ生産設備があることは、他の部落に真似の出来ない自慢の一つだらう。水稻の一番肝腎な八月の出穂期に年々水不足を生じ之が解決策を誰一人として構ひない者はなかつたが、一昨年、協同組合の協力で依り工費數十万円を投じ、水田各所に高圧電線を架設、繰出力四十数馬力で揚水機を廻すのだから、其の揚水力は実にたいしたものだ。之に依つて産み出された余剰電力は栄村園芸の主カとゆならう。

やがて水田に稔つた稲は俵となつて各人の納屋に収まる日も近い將來ではないだらう。こうした新しい生産事業に部落の人達が一致協力して自からの生活を、部落の生活を、豊かに明るく築き上げて行く姿、この部落の美しい姿こそ真に大きく、部落自慢として発表することの出来るものであらう。

弘報委員 大津 治雄 記

人事消息 (四月分) 戸籍主任

出生の部

出生月日	氏名	大字	父	母	備考
四、二	沼尻愛子	横町	勝雄	千代	長女
四、四	塚本丈夫	大	徳之助	とみ	長女
四、五	諸井悦子	古来	俊男	芳野	二女
三、二二	根本光子	吉瀬	武	はる	長女
三、二六	上方一衛	〃	善三	みち	長男

婚姻の部

大字	氏名	配偶者氏名	備考
土蔵屋	飯島四郎	酒井みち子	上郷より
横町	高梨房子	牧野行水	栗原津島区水戸町
〃	沼尻春枝	廣野 健	大瀬村大曾根
古来	沼尻義子	松田嘉次	北海道札幌市北五條西三丁目一番地より
〃	豊島はま	小林太門	茨城県小田村小田
〃	豊島敏子	大沼義次	栗原村大字栗原より
吉瀬	中島守男	大塚かね	丸重村大字倉母より

死亡の部

死亡月日	氏名	年令	大字	筆頭者との続柄
四、一八	佐藤要之助	六七	金田	賢の父
三、三一	沼野清一	七二	〃	武男の父
四、四	根本一舟	七四	吉瀬	徳二郎の養父

法務府とはどうゆう役所か？

戸籍主任

昭和廿三年二月十五日、明治初年以來の永い傳統を、つ司法省が廃止され、之に代つて新に法務府が設立されたことを、皆さん御存じでしょうか。

法務府とは、いつたいどんな事をする役所でしょうか。法務府は他の省と異なる一種独自の機構をもちつています。即ち法務總裁の下には事務官と言つたものがなく、政務次官のほかに、法制意見長官、行政長官、民事法務長官及び官房長があつて、總裁を補佐しています。法務總裁は、政府における法務を統轄すると共に、法律問題に関する政府の最高顧問の地位にあります。

- 法務府の事務を大別すると次の様になります。
1. 内閣並に内閣総理大臣に対し意見をのべ、又は勸告する。
 2. 内閣提出の法律案、及び政令案の審議立案條約の審議を行ふ。
 3. 國の法律問題についての代理人として民事刑事の訴訟を行ふ。
 - イ. 刑事について原告として國を代表して公訴を行ふ檢察事務。
 - ロ. 民事、及び行政の訴訟についての、所謂訟務。
 4. 裁判所に行つてゐる司法と密接 關係のある事務を行ふ。
 - イ. 種々の權利關係の基本となる國籍、戸籍、登記、供託などの民事行政事務。
 - ロ. 刑事裁判若しくはこれに準ずるものの執行である矯正保護の事務と、その釈放者等に対する更正保護の事務。
5. 新憲法の精神である、日本の民主化達成の爲、非民主的傾向を排除するに必要な事務を行う。

イ. 民主化の基礎である人權擁護の事務。
ロ. 非民主的傾向を排除する、特別審査の事務。

即ち法務府は我が國が秩序ある民主主義國家として発展して行く爲、法が正しく作られ、正しく運用され、正しく守られて行くようにすることを役目としてゐるのであります。

編輯者よりお詫び

四月号新語豆字引中の、ユネスコは、アンラとの間違いで、アンラが國際連盟救済復興委員会で、ユネスコは、國際聯合教育科学文化機關、であります。又三月号の、アラモードは、アラ、モード、で中の点を落しましたから、訂正致します。

無名氏からこの点について指摘投書がありました。御注意に対し篤く感謝すると共に深くお詫び致します。今後共に不備の点は御遠慮なく御注意下さいませう御願ひ致します。無名氏の御氏名、私宛に御通知下さらば幸甚に存じます、編輯責任者 金田菊池精秀。



村のNO.1
家畜愛好家の巻

今日のNO.1は 村で、種類の数において一番多くの家畜を飼つてゐる所謂施設動物園とも言ふべき家庭を探して、紹介する事にした。

牛、山羊、綿羊、豚、アンゴラ兎、犬、猫、七面鳥、鶏、軍鶏、チマボ、——以上十一種類、聞いただけでゆびつくりするその愛畜家は、誰あらう、古来部落の久松茂氏である。関東一の野菜村を背負つて、農協創立以来、組合の運営に没頭する名組合長としての定評は誰も知るところであるが、これは又、反対に誰にも知られて居ない不出世の一面である。田が六反五畝畑が七反五畝で本村の標準型を行く農家である氏が「家畜の種類と自分の農業経営とは、何の關係もない」と放言してゐる処を見ると、無論打算的でもなく、又そうかと言つて、單なる物好きでもないらしい。殊に面白いことは、村一番だとも気づいていない点と、当の主人公、一向に手を下さない家族任せの点である。

米音頭米小唄歌詞追募集



村の歌、村の踊りとして、村民の皆様から、大変喜ばれ、又心から愛誦されている米音頭、米小唄をより立派な、より価値の高いものに育てあげるため、左記の方法によりまして、歌詞の追募集をすることになりました。今まで発表されただけの歌詞では、まだまだ米村の特徴、情調等を完全に表現し蓋したとは申されません。ゆつとお互が研究し、苦心して、全国的に普及して決して負けない処の、すぐれたものに仕上げたいと考えます。村民の皆様の中には、必ずかかれた詩人歌人が居られることを期待しまして、沢山の応募を切にお待ち致します。

一、音頭小唄共に、歌詞は既定の型式によること。
一、締切は別に設けませんから、原稿は随時、弘報係まで送付のこと。
一、集つた原稿の中から、優秀なものを選び、入選決定歌詞として、逐次発表してゆきます。
一、原稿は一切お返し致しませんから念のため。

電話室

村から家庭へ——
家庭から村へ——

◇ 白い羽根募金——今年も又、五月一日から、五月三十一日までの期間、赤十字の資金募集が展開されています。本村に示された目標額は二万四千二百九十一円です。眞に困る人を救ひ合ふ為、奮つて御賛同御協力下さい。

◇ PTA総会——去る五月四日公民館でPTAの総会が開かれ、今年から、中学校小学校別々に会が構成されまして、別掲の如く役員や委員が新しく選任されました。又、前会長久松信一氏、元会長菊地民雄氏の功績を讃え、労を憐れむため、五月十五日、記念品の贈呈と「前会長を送るの会」が催されました。

◇ 農業協同組合総会——五月二十日農協及共済両組合の昭和廿五年度通常総会が開かれ、定款の改正役員の変更及收支決算事業計画等重大案件が審議決定されました。詳細は次号でお知らせいたします。

(17) ◇ 音頭小唄の舞踏練習会——五月十七日 第一回の踊り手ほどき会が催されました。続いて商工会の主

催で、一般の練習会を中根前に於て開催されます。

◇ 村議選挙の結果——投票総数二〇〇七票、有効投票数一九九七票、無効投票数一〇票、

- 二五岡田節二 一一七次保留三郎 九九豊島 亨
- 一四二酒井 晋 一一二市村徳夫 九六輕部哲太郎
- 一三六酒井助衛 一〇九飯島重夫 八一平島作太郎
- 一二八片岡謙一郎 一〇七小倉松三郎 八〇五頭良雄
- 一一一久保田榮 一〇三根本一之 七七沼尻軍一
- 一一〇豊島三五 一〇二小林喜市 四五豊島庄一

◇ 知事投票結果——投票総数一、八一六票
有効票数一七五八票 無効票数五八票

知事——一、三〇二票友未洋治 四五六票宮代 徹

◇ 県議投票結果——投票総数一、八一六票
有効票数一、七七五票 無効票数四一〇票

- 五八一票 栗山晋吾 一九五票 畠山 瑞
- 五七二票 塚本 明 五三票 石上長寿
- 三五四票 鈴木政男 二〇票 椿菅太郎

◇ 栄村農協知事表彰——五月十日 平和茨城建設功労者表彰式に於て、農林事業特産振興功労者として、友未知事より、輝く表彰を受けました。

編輯後記

目に染みる新緑の大空高く、日本男子の象徴たる鯉が悠然と泳ぐ五月。

更新した村の組織をパノラマとして便誼に供するため今月は、各種団体の役職員名鑑特輯号として、発行する事になりました。何しろ延六五二名にのぼる役職員名を僅かな紙面にうまく組んで行くことは仲々困難なことでしたので、区切りを揃える為、氏名の長短によつて順序が前後している所があつたり、年令を表わすのに、初めは縦に書き、途中から横書きにする等、非常に拙劣な点が多々ありますが、これは限定された頁の関係上どうにもならないので、この点は今年の脱漏や間違ひと共に、不遜御了承願ひます。

よう／＼編輯を了つた今日は凶らずも旧暦四月八日で、世界的偉人釈迦牟尼佛降誕の嘉き日、天と地とを指して「天上天下唯我独尊」と喝破された日であります。この一句こそ文化村への推進力となるべき、役職員否、村民全部が理想とすべき、永遠不変の眞理であります。『我れ独り尊し』であつてこそ誰かが

大きな確信と絶対的責任とを持つべきであつて、各人が各職場に於て絶対的な自信と責任を以て、全力を傾けて努力すべきであり、それこそ眞の理想境が生れるのであります。三千年の昔、釈尊の叫ばれたこの声こそ、眞の民主主義思想であり、眞の自由であらねばなりません。役職員を選んだ各自は役職に対して責任を負ひ、役職員はその職責に対して、どこまでも強い自信と大きな責任を以て進むべきでしょう。最後に、原稿の調査蒐集に努力された、青年会文化部員各位に対し心から感謝致します。

『さかえ』 第七号

昭和廿五年十一月三日創刊
昭和廿六年五月十四日印刷
昭和廿六年五月十五日発行

編輯人 栄村公民館弘報委員会
印刷人 土浦市甲城町九一九 かつみ 膳 寫 堂
発行人 栄村公民館長飯島吉亮
電話四八九番

栄村公民館 花南氏